



自治医科大学卒業医師（神奈川県出身）の 卒後勤務について

令和8年6月28日（日）
神奈川県健康医療局保健医療部
医療整備・人材課

- 1 自治医科大学について**
- 2 神奈川県のリローテーションについて**
- 3 まとめ**

1 - 1. 自治医科大学 (概要と魅力)

自治医科大学とは？

- 医師不足に悩むへき地等の医療の確保と向上及び地域住民の福祉の増進を図るために、昭和47年（1972）に全都道府県が共同して設立（栃木県下野市）
- 各都道府県から毎年2～3名が入学

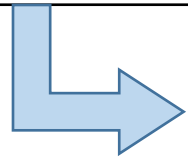
自治医科大学の魅力

- 医師国家試験全国トップクラスの実績（直近13年間で全国トップ11回）
- 授業料等の修学資金は全額貸与され、卒業後、出身都道府県が指定する勤務地で最短9年間（貸与期間の1.5倍）勤務することで修学資金の返済が免除
- 全国から集まった仲間とともに過ごす6年間の寮生活
- 都道府県県人会による在学生・卒業生の交流

1 - 2. 自治医科大学（建学の精神と医学教育の考え方）

建学の精神

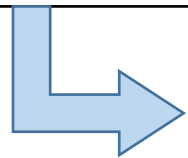
- ・ 医療に恵まれない地域の医療を確保し、地域住民の保健・福祉の増進を図るため、医の倫理に徹し、かつ高度な臨床的実力を有し、更に進んで地域の医療・福祉に貢献する気概ある医師を養成するとともに、併せて、医学の進歩を図りひろく人類の福祉にも貢献する。



医療の谷間に灯をともす

医学教育の考え方

- ・ プライマリ・ケア（患者のみならず家族、地域も対象とした全人的・包括的な保健医療サービス）に十分対応できるように、特定の分野に偏ることなく、幅広く、かつ、高度な医学知識・医療技術を習得した医師の育成に努める。



総合医の育成

2-1. 神奈川県のリローテーション

卒業後9年間の配置リローテーション

卒業年	1～2年目	3～4年目	5～6年目	7～9年目		
勤務先	臨床研修	地域医療研修	地域派遣	公立・公的医療機関等勤務		
	横須賀市立 総合医療センター (旧うわまち病院)	県立足柄上病院 総合診療科 (総合診療専門研修) (週4日)	公立公的診療所 (週4日)	臨床コース	公衆衛生コース	
		保健福祉事務所 (週1日)	保健福祉事務所/ 公立公的医療機関 (週1日)	公立公的 医療機関		保健福祉 事務所等

卒後9年間の配置（※イメージ）

○ 臨床コース

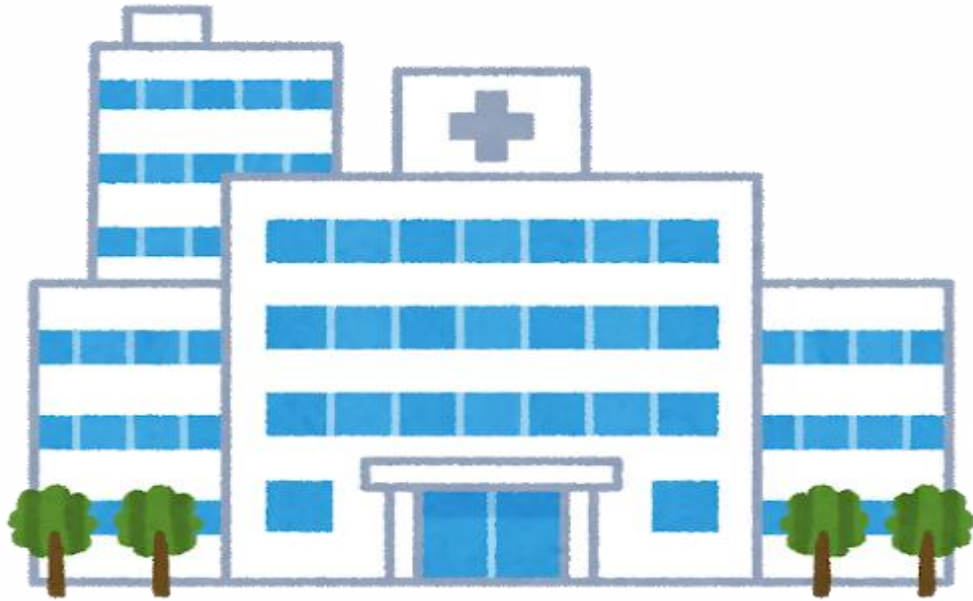
卒後年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
区分	臨床研修		地域医療研修		地域派遣		公立・公的医療機関等勤務		
勤務先	横須賀市立総合医療センター	横須賀市立総合医療センター	県立足柄上病院／保健福祉事務所	県立足柄上病院／保健福祉事務所	公立診療所等／保健福祉事務所等	公立診療所等／保健福祉事務所等	県内大学病院	公立公的医療機関	公立公的医療機関

○ 公衆衛生コース

卒後年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
区分	臨床研修		地域医療研修		地域派遣		公立・公的医療機関等勤務		
勤務先	横須賀市立総合医療センター	横須賀市立総合医療センター	県立足柄上病院／保健福祉事務所	県立足柄上病院／保健福祉事務所	公立診療所等／保健福祉事務所等	公立診療所等／保健福祉事務所等	保健福祉事務所等	保健福祉事務所等	保健福祉事務所等

2-2. 卒後1～2年目（臨床研修）

横須賀市立総合医療センター（旧横須賀市立うわまち病院）



【所在地】 横須賀市神明町
【病床数】 450床
【標榜診療科】 34科

【研修プログラムの目的と特徴】

厚生労働省の研修理念に則り、総合的な診療能力を育成するプログラムである。医師としての人格の醸成を主体とし、横須賀・三浦地区の基幹病院における豊富な症例による研修で、基本的な診療能力を身につける研修を行う。

当院には以下のような特徴がある。

- **救急車年間 6000 台以上の豊富な救急症例数**
 - 365 日 24 時間体制の充実した小児医療
 - 最高評価AAAの循環器治療（主要病院日経調査）
 - 病診連携が確立している中での**地域との密接な関わり合い**
- （略）

このプログラムには以下の特徴がある。

- **「地域医療」研修を 12 週確保し、当社団法人に属する多彩な病院・施設・診療所で、生きた地域医療の研修を行う。**
- （略）

2-3. 卒後3～4年目（地域医療研修）

県立足柄上病院 総合診療科 総合診療専門研修（週4日）

- ・ 県内唯一の医師少数区域である県西医療圏の中核的な総合医療機関として、救急医療、第二種感染症指定医療機関などの役割を担う。
- ・ 高齢化の著しい県西地域では複数疾患を抱えている患者が多く、臓器横断的な視点での診療や治療を通して、総合的な診療能力を修得できる。

県保健福祉事務所（週1日）

- ・ 県の公衆衛生医師として、行政の視点から公衆衛生の向上に寄与する。
- ・ 保健所勤務を通して、健康教育、感染症予防に取り組むことで、総合医としての基本能力を修得できる。
- ・ 公衆衛生に関心がある場合は、足柄上病院と調整が可能な場合に限り、保健所勤務日数の増を認めたい。



小田原保健福祉事務所 足柄上センター

2-4. 卒後5～6年目（地域派遣）

県内公立・公的診療所（週4日）

- ・ 地域医療の確保と向上、地域住民の福祉の増進のため、公立公的診療所にて勤務
- ・ 一部診療所については、足柄上病院総合診療専門研修プログラムの連携施設に追加検討中



卒後3～4年目と5・6年目の診療所勤務をもって、日本専門医機構認定「総合診療専門医」を取得できるよう関係機関と調整中

医療機関・保健福祉事務所（週1日）

- ・ 週1日は診療所ではなく、医療機関（足柄上病院等）や保健所での勤務
- ※ 2年のうち1年間は、保健福祉事務所勤務で週1日勤務

二次医療圏	公立公的診療所一覧
県央	県立煤ヶ谷診療所
相模原	国民健康保険青根診療所
	国民健康保険日連診療所（藤野に統合）
	国民健康保険内郷診療所
	相模原市立藤野診療所
	相模原市立千木良診療所（内郷に統合）
	相模原市立青野原診療所
県西	小田原市国民健康保険片浦診療所
	松田町国民健康保険寄診療所
	山北町立山北診療所
	真鶴町国民健康保険診療所

2-5. 卒後7～9年目（公立・公的医療機関等勤務）

○ 臨床コース（週5日医療機関）

- ・ 総合医としての能力を発揮し、**県内の公立・公的医療機関で勤務**
- ・ 日進月歩の医療知識や医療技術に乗り遅れないよう、**総合診療科以外の基本領域でも専門研修を可能**とし、医師としてのスキルアップを図る。
- ・ なお、県内の大学病院本院及びその附属病院（県内に限る）での勤務を認める。

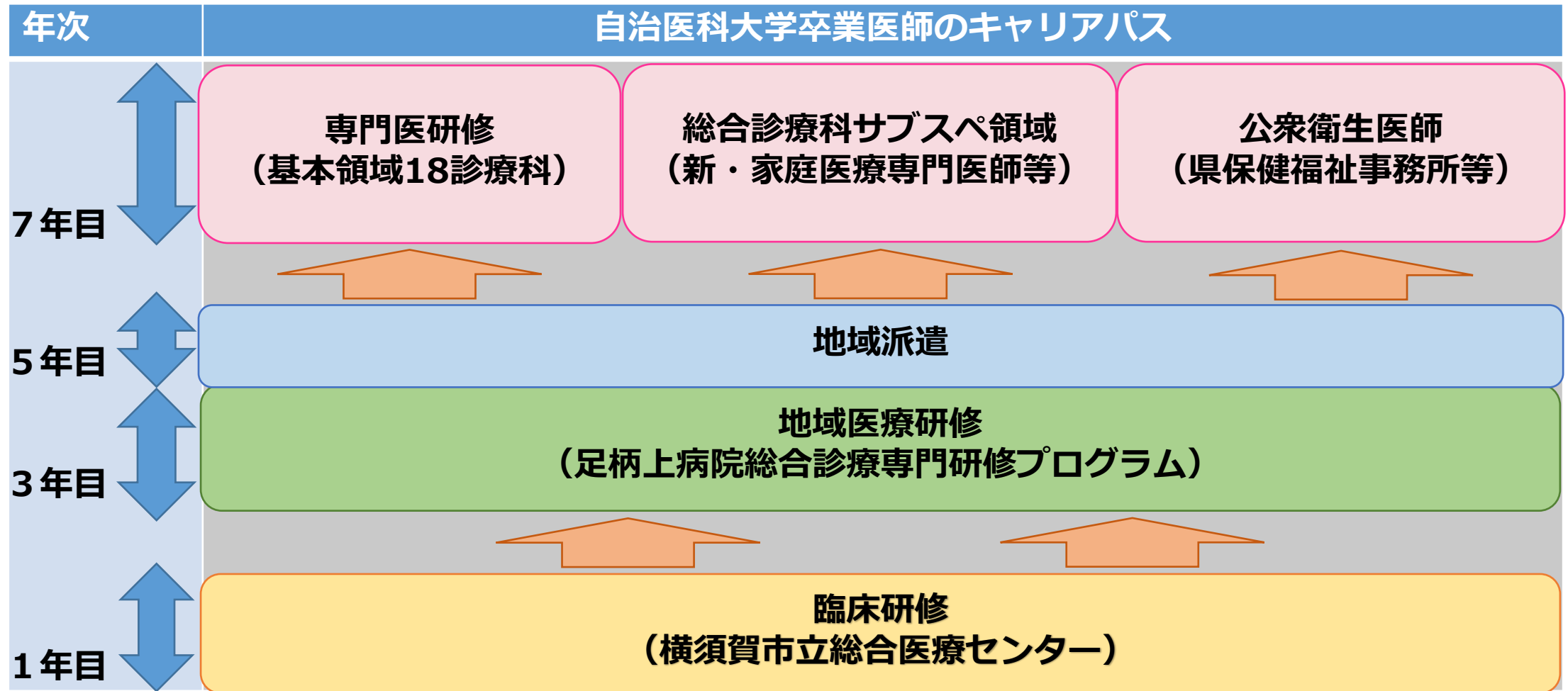
○ 公衆衛生コース

- ・ **公衆衛生に関心がある場合は、公衆衛生医師として県保健福祉事務所等での勤務も可能**
- ・ **週4日までは県内公立・公的医療機関での勤務を認め、臨床への復帰を視野に入れた勤務も可能**

＜公衆衛生コース 勤務例＞

勤務パターン	保健福祉事務所等	医療機関
A	週5日	週0日
B	週4日	週1日
C	週1日	週4日

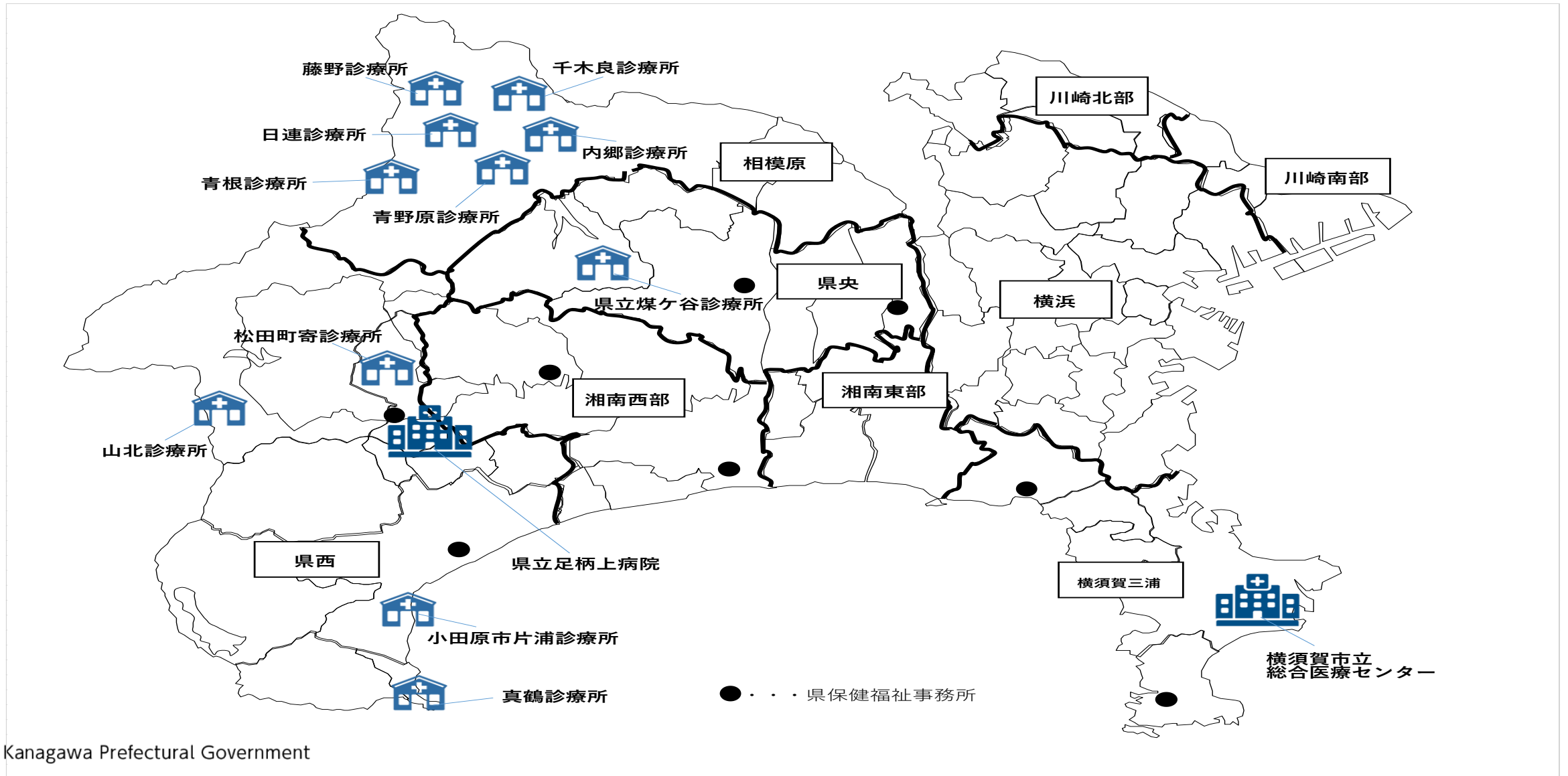
2-6. 神奈川県におけるローテーションにおけるキャリアパス



自治医科大学キャリア・コーディネーターが、学生や医師のキャリア形成を最後までサポート



(参考) 関係機関の所在地



まとめ

神奈川県ローテーション

卒後年数	1～2年目	3～4年目	5～6年目	7～9年目
区分	臨床研修	地域医療研修	地域派遣	公立・公的医療機関等勤務

- ◆ 1～2年目：横須賀市立総合医療センターで、医師の基本的診療能力を修得
- ◆ 3～4年目：診療所勤務を見据え、県立足柄上病院の総合診療科、保健福祉事務所で総合医としての研鑽を積む
- ◆ 5～6年目：診療所で勤務し、総合医として地域医療に貢献
- ◆ 7年目以降：総合医の知識や技能を活かして公立公的医療機関で勤務し、本県医療に貢献いただくとともに、専門研修も実施可能

※ 配置ローテーションは本県の医療事情を鑑み、定期的に見直しを行います。
在学中や卒後9年間の途中で変更させていただく場合があります。

- ◆ 神奈川県のリローテーションは、診療所勤務を見据え総合医としての研鑽を積む期間を設け、不安なく、地域医療に貢献できます
- ◆ 個々の医師のキャリアとの両立を図り、ローテーション中に基本領域19診療科の専門研修を開始できます
- ◆ 総合医に興味のある方、神奈川県の地域医療を支えたいと考えている方の受験をお待ちしています

ご清聴、ありがとうございました。

